

キャリア教育 交流授業

9月12日、海士中学校3年生と島前高校の1年生とが中高連携の交流活動を行いました。

中学生は、

- ① 交流を通して、島前高校の生活や1年後の自分についてイメージを描く。
- ② 先輩からのアドバイスにより、意欲的に中学校生活を送るきっかけとする。
- ③ 島留学生の視点を通して、島の魅力を再発見する。

という3つの目的をもって。

また、高校生は、自分自身や高校生活について話すことで、自身の変化や成長に気づくとともに、高校生としての自覚を深める。という目的をもって交流授業を行いました。

〔中学生の感想より〕

今日は、高校1年生の話が聞けたのでよかったです。島外から来た人は、海士のようなきれいな海がある



ところがいいんだなと思いましたが、海士ではあかさつを返してくれるのが普通だと思っていました。

島外では、普通でないということが分かりました。私は、幸せな環境で暮らしているなど思いました。だから、ぜひ自然豊かな島にある島前高校に行きたいです。

〔高校生からのメッセージ〕

今回の授業はいかがだったでしょうか。私たちの話で、少し勉強になったでしょうか。中学生の皆さんの、今後の進路の参考にしてくれたら嬉しいです。実際、私が中3の頃は進路に本当に悩んでいました。

しかし、いつかは決断すべき時が来ます。その時はしっかりと、「自分はこの高校へ行く。」「高校で○○をする。」「と心に決め、誰にも揺さぶられずに進学した方がいいと思

ます。そうでないと、後悔してしまいます。私は、島前高校に来たことを後悔していません。島前高へ入学希望している人へ。来年からよろしく！楽しみにしています。

1年生 『夢探求』

文部科学省 長田徹調査官

9月2日、1年生の夢探求において、文部科学省の長田徹調査官にお話をして頂きました。長田氏は「東北大震災」の体験をもとに、「誰かを笑顔にできたという経験の中から特に手応えの強いものが《夢の種類になる。》」「人の役に立つことや誰かを笑顔にすることが《夢の入口》になる。」など、これからの生徒の生き方につながるお話をたくさんしていただきました。

〔生徒の感想から〕

私は今日、実際に被災した人から直接話を聞くということを体験しました。

地元の小学生や中・高生が、お年寄りを抱きしめて暖をとったり、助け合ったりという話を聞き、その人

達は本当に立派で尊敬したいと思いました。自分がその場にいたら、そんな行動ができたろうかと考えました。私もこれから積極的に動き、人の役に立ちたいと考えました。そして、そこから夢を見出ししていきたいと思えます。

今日ほど「生きること」が幸せで、「悩めること」は贅沢だと思ったことはありませんでした。震災があつて約2年。たくさん情報から、震災についてよく知っているような気持ちになっていて、辛そうとか悲しそうとか感じていましたが、それは本当に「そこそこ」だったと知りました。小学6年生の子どもが、泣くのを我慢し、自分達の家や町が流され、人が死んでいくのを見ていたかと思うと、自分は簡単なことで泣けないなと思いました。家族が死んでいるかもしれない。そんな中でも他人を助けたいと思う気持ちを持っていた彼らは、本当にただ単純に「かっこいい」と思いました。

人の役に立ち、人を笑顔にできる人間になりたいと思ったので、少しずつ実践していきます。

西ノ島町観光協会からのお知らせ

秋イベントに参加しませんか？ 隠岐の4島を回って隠岐の良さを再発見しましょう！

11月2日(土)～3日(日)	しまね女子会フォーラム	隠岐の島町、海士町、西ノ島町
11月3日(日)	食の感謝祭	海士町(隠岐神社境内)
11月30日(土)まで	第2回隠岐ジオパークフォトコンテスト	隠岐4島

<http://www.e-oki.net/photocon/> 隠岐で撮った写真をエントリーしてみてください！

ふるさと案内人は観光客の案内で大忙し！

9月はガイド依頼が多くて、ほぼ毎日ふるさと案内人がお客さんに西ノ島の魅力について語りました。チャーター機で名古屋と福岡から来たお客さんと別府港の町歩きで西ノ島ふるさと館や碧風館に入ったり、飛鳥IIのお客さんと由良比女神社へ歩いたりしました。そして、9月にバスガイドをデビューしたガイドもいました。本当にお疲れ様でした！10月の「ふるさと案内人」ミーティングで初心者と経験者が西ノ島のガイドの様子について楽しく語り、隠岐世界ジオパーク、イラストを使ったガイドストーリー、秋に見る渡り鳥などについて学びました。



ガイドのスキルアップのために、ジオパーク学習会、バードウォッチング、自然観察会などを企画しています。

今回のミーティングは11月11日(月) 13:30～15:00で、場所は別府港ターミナル2Fです。まだ、ふるさと案内人を募集していますので、興味のある方はぜひ観光協会へ連絡して、ミーティングに参加してください。

みんなで隠岐世界ジオパークで地球のパワーを感じましょう！

京都から修学旅行生が来島しました！

9月30日から10月3日にかけて京都府立西城陽高等学校(7クラス・278名)の生徒達が修学旅行で西ノ島に来島しました。今回で3年連続の来島となりました。

生徒たちはマリンスポーツ、国賀浜から摩天崖までのトレッキング、国賀遊覧、魚釣りなど西ノ島の大自然を満喫し、夜にはナイトクルージングも楽しみました。行程最終日には知夫里島の赤ハゲ山をトレッキングし、最後は別府港から紙テープで感動的な見送りを行いました。最後まで手を振る生徒達の姿が印象的でした。



西ノ島ふしぎ発見(24)

～浦郷の「まめな会」の真野清子さんと隠岐世界ジオパークについて話をしました～

ニコラ 真野さん、ジオパークの意味が分かりますか？

真野 あまり良く分かりません。パークは公園ですけど、ジオって？

ニコラ ジオパークは「地球公園」や「大地の公園」です。地質だけじゃなくて、隠岐の動植物、歴史文化、島民の生活も隠岐ジオパークの特徴です。隠岐は屋外博物館として考えてみてください。

真野 面白いですね！私たちは博物館に住んでいて、国賀海岸や焼火神社は展示物ですよ？すごい！

ニコラ そうです！秋に見るトウテイラン、ダルマガク、オキノアブラギクなどは宝です。秋の祭り、十方拝礼、漁火、くるくる回るイカなど、隠岐の生活の大事なこともジオパークの宝です。

真野 私たちの目の前に広がる景色、植物、生き物、歴史文化は世界に誇れます。

ニコラ はい！隠岐の人にとっての「当たり前」は、他の人にとって「不思議」ですね！